

患者さんへ

「当院における宗教的輸血拒否患者に対する心臓血管外科手術の成績 ～アウトカムに与える手術緊急度と術後貧血についての研究～」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2013 年 2 月～2025 年 6 月に当院心臓血管外科手術で心臓大動脈手術を受けられ、思想信条に基づいて輸血を拒否された方
2 研究目的・方法	当院では、宗教上の理由から輸血を望まれない患者さんを受け入れており、緊急の症例にも可能な限り対応していますが、特に心臓血管手術は、出血のリスクが高くなることが多いため、輸血を使わずに安全に手術を行うには、高度な技術と事前の準備が必要です。 この研究は、手術後の貧血の進み具合や、それが体にどう影響するか（例えば回復の早さや命に関わるリスク）なども詳しく調べます。これらのデータは、将来的に輸血に頼らず治療する方法をより良いものにしていくうえで役立つと考えています。 研究の期間：施設院長許可後（2025 年 8 月予定）～2035 年 6 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	術前患者データ（年齢、性別、信仰、病歴、体表面積、術前採血データなど）、手術中のデータ（手術時間、人工心肺時間など）、術後のデータ（術後ヘモグロビンの推移や合併症など）等
5 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 湘南鎌倉総合病院、心臓血管外科 山部 剛史 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号：0467-46-1717

2025 年 9 月 9 日作成（第 1.2 版）